

F/T09

フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

『H3』

グルーポ・ヂ・フーア

演出・振付:ブルーノ・ベルトラオ【ブラジル】

11月7日(土)~11日(水)

於:にしすがも創造舎



© Bruno Beltrão

ブラジルのストリートから登場した、哲学するヒップホップダンサー
ブルーノ・ベルトラオの最新作が東京に初登場。
世界が注目するダンスの新機軸を目撃せよ！

お問合せ:フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 <http://festival-tokyo.jp/>
〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨 4-9-1 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207
制作担当:植松侑子 y-uematsu@anj.or.jp

／ 作品について

哲学するヒップホップ。ダンス界の新星、ブラジルから遂に上陸！

ブラジルの首都、リオ・デ・ジャネイロに隣接するニテロイ出身の振付家・ダンサー、ブルーノ・ベルトラオ。彼は若干 28 歳でありながら、現在世界で最も注目すべき振付家のひとりである。

ブルーノがダンスの世界に足を踏み入れたきっかけは、ストリートダンスであった。仲間を集めてストリートダンスのイベントやコンペティションに参加するうち、ヒップホップをより自由に、思想性のある舞台芸術作品として昇華させるために、ヒップホップの動きのシークエンスを分解し、哲学的な思想を持って再構築する試みを始める。

彼の野心的な試みが最もよく現れた最新作『H3』は、クンステン・フェスティバル・デザール、フェスティバル・ドートンヌ、ベルリン HAU 劇場などの世界の名だたる舞台芸術フェスティバルや劇場との共同製作において創作され、2008 年の初演以降、世界各地で好評を博している。

エネルギーでダイナミックなストリートダンスならではの身体性に、分析的な視点、繊細で緻密な構成、作品全体を貫く緊張感が融合。不要なものを限界までそぎ落としたシンプルな舞台と音楽で構成される本作の焦点は「知覚」と「空間」である。9 人の鍛え抜かれたダンサーの身体から繰り返されるムーブメントの連続は、触れそうで触れず、ぶつかりそうでぶつからない。常にギリギリのところ動きが制御される。

ヒップホップと聞いて、グルーヴィーでアップテンポな曲に合わせて次々とテクニックが披露されるダンスを想像し本作を見ると、これが本当にヒップホップなのか疑問に思うかもしれない。

しかし、「ヒップホップは、革新的で表現豊かなボキャブラリーの軌道上に載せられた。今、私たちはヒップホップを転機に立たせなければならないのだ」と語るブルーノ・ベルトラオは、楽しみや興奮を求めただけのヒップホップに別れを告げ、新機軸を拓こうとしているのだ。

／ 劇評より

ヒップホップする哲学者——ダンス界はずっと彼の登場を待っていた。

(Tagesspiegel 紙 2008 年 5 月 24 日)

ブルーノ・ベルトラオは、ヒップホップを画一化したイメージで捉えることに対して、非常に鋭い批評眼を持つ。

(CORPUS 2008 年 5 月 24 日)

『H3』は、「ヒップホップを再考する」というブルーノ・ベルトラオの主眼点を強調する作品である。

(De Morgen 紙 2008 年 5 月 15 日)

ブルーノ・ベルトラオは躍動する鼓動を失うことなく、ヒップホップをありきたりのフレームから開放した。

(De Standaard 紙 2008 年 5 月 14 日)

/ アーティスト・プロフィール



©TELMO KEIM

ブルーノ・ベルトラオ

Bruno Beltrão

振付家、ダンサー

1979年ブラジルニテロイ生まれ。93年よりイスラエル人講師によるストリートダンスのレッスンを受けはじめ、ブラジルでは当時あまりメジャーではなかったこのダンススタイルに没頭することになる。

96年、ロドリゴ・ベルナルディ(Rodrigo Bernardi)と共にダンスカンパニー「グルーポ・ヂ・フーア(Grupo de Rua)」を設立。当初の2年間はストリートダンスのコンペティションやイベント、テレビ番組等への出演をメインに活動していたが、01年、コンテンポラリーダンスシーンにおける初めての作品となるデュエット作品『From Popping to Pop or vice-versa』をリオ・デ・ジャネイロのフェスティバルにて上演。この作品はパターン化された構成方法と技巧を追い求めるストリートダンスからより自由に作品を創作するためのファースト・ステップとなり、また、彼の振付家としてのターニングポイントとなった。この作品以降、ブルーノはヒップホップのテクニックを用いながら柔軟で創意に富む作品を創作する方法を探究し続けることになる。

02年、ランコントル・コレオグラフィック・アンテルナショナル・ドウ・セーヌ・サンドニで紹介されたことをきっかけに、カンパニーは国際的なキャリアを築き始める。03年にはフランス人振付家ジェローム・ベル(Jérôme Bel)に招かれ、ベルギーの国際的ダンスフェスティバル、クラブストウック・フェスティバル(Klapstuk Festival)で作品を上演。また、同年ユトレヒト(オランダ)、アジャクシオ(フランス)、ベルリン、ハノーバー(ドイツ)、横浜などでも作品を上演する。

現在は振付家としての創作活動の傍ら、社会活動にも積極的に参加し、ストリートダンスの普及と啓蒙活動も様々な領域で行っている。

/ キャスト / スタッフ

演出・振付	ブルーノ・ベルトラオ Bruno Beltrão
アシスタントディレクター	ウゴ・アレキサンドレ・ネヴェス Ugo Alexandre Neves
プロデューサー	マリアナ・ベルトラオ Mariana Beltrão
制作	ガブリエラ・ウィークス Gabriela Weeks
音楽	ルーカス・マルシエル、ロドリゴ・マルサル(ARPX) Lucas Marcier e Rodrigo Marçal, ARPX
照明デザイン	ヘナート・マシャード Renato Machado
照明デザイン補佐・照明操作	ジルベルト・オリヴェイラ Gilberto Oliveira
美術デザイン	ガルダー・プポ Gualter Pupo
衣裳	マルセロ・ソメール Marcelo Sommer
経理・事務	ジョアン・マルコス・ベルトラオ João Marcos Beltrão
出演	ブルーノ・デュアルテ Bruno Duarte ブルーノ・ウィリアムズ Bruno Williams ダニーロ・ダルマ Danilo D'Alma チャーリー・フェリックス Charlie Felix エドゥアルド・ハーマンソン Eduardo Hermanson フィリピ・ヂ・モラエス Filipi de Moraes クレベルソン・ゴンサウベス Kleberon Gonçalves クリスチアーノ・ゴンサウベス Kristiano Gonçalves ルイス・カルロス・ガデーリャ Luiz Carlos Gadelha チアゴ・アルメイダ Thiago Almeida
共同製作	グループ・ヂ・フォーア、フェスティバル・ドートンヌ、ラ・フェ ルム・ドウ・ビュイツソン(マルヌ・ラ・ヴァレ国立舞台)、 リュクサンブール大劇場、サラマンカ国際芸術祭 2008、 クンステン・フェスティバル・デザール、ベルリン HAU 劇 場 Grupo de Rua, Festival d'automne à Paris, La Ferme du Buisson - Scène nationale de Marne-la-Vallée, Le Grand Théâtre de Luxembourg, International Arts Festival/Salamanca 2008 - Junta de Castilla y León, Kunstenfestivaldesarts, Hebbel am Ufer

東京公演スタッフ

舞台監督	中原和彦 kazuhiko Nakahara
照明コーディネーター	佐々木真喜子((株)ファクター) Makiko Sasaki (Factor)
音響コーディネーター	相川晶(サウンドウィーズ) Akira Aikawa (Sound Weeds)
後援	ブラジル大使館 EMBASSY OF BRAZIL
主催	フェスティバル/トーキョー Festival/Tokyo

/ 公演情報

会場 にしすがも創造舎
(東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 TEL03-5961-5202)

公演スケジュール

11/7(土)	11/8(日)	11/9(月)	11/10(火)	11/11(水)
17:00	13:00 19:30	19:30	19:30	19:30

上演時間 50分(休憩なし)

/ チケット情報

料金 自由席(整理番号付き)
一般 4,000円
学生 3,000円/高校生以下 1,000円(要学生証提示)

前売開始 2009年9月5日(土)

お取扱い ○F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00)
※前売開始日9/5(土)のみ10:00より受付
○F/Tオンラインチケット(要事前登録・無料)
<http://festival-tokyo.jp/>(パソコン)
<http://festival-tokyo.jp/m/>(携帯)
※モバイルサイトは9月より開設予定
○F/Tステーション(東京芸術劇場前)
※10月後半より取扱い予定
○電子チケットぴあ 0570-02-9999
(Pコード予約:397-080) <http://pia.jp/t/>
○イープラス <http://eplus.jp/ft09/> (パソコン・携帯)

* 回数券、セット券、ペア券など、F/T チケット情報詳細につきましては、F/T 全体チラシまたは F/T 全体リリース、HPをご参照ください。

/ 写真/クレジット一覧

『H3』



©Bruno Beltrão

ポートレート : ブルーノ・ベルトラオ



©TELMO KEIM

- ・ご利用になる場合は、クレジットを必ず併記してください。
- ・原則、トリミングおよび加工は不可。